

# 第54回インナーゼミナール大会

## 研究計画書

ゼミ名	森本ゼミ	チーム名	甲南ブレーブス
タイトル	阪急の有料指定席について考える		
テーマ群	a) 理論・情報		
メンバー	井本雄大 井頭航大 野口洸太 谷口遼成 中山怜音 川上豊		
研究計画内容	<p><b>【研究背景】</b></p> <p>2024年7月21日阪急京都線において有料指定席「PRiVACE」が大坂梅田駅と京都河原町駅間にて運行を開始した。朝のピーク時は混雑を避ける目的から、多くの列車は満席となっている。しかし、昼間のオフピーク時は空席が目立っている。松本(2020)では価格変化による需要の変化率が価格の変化率を超えること、すなわち需要の価格感応度が非常に大きいと述べられている。そこで私たちは、ピーク時は満席かつ利用できない乗客が発生しない料金、オフピーク時は現在よりも利用者が増加する料金になるような料金設定について考える。</p> <p><b>【研究内容】</b></p> <p>私たちの研究内容は、阪急電鉄における有料指定席での需要に対しての企業の利潤最大化となる価格の設定である。現在の利用状況から価格理論モデルによってピーク時とオフピーク時の需要曲線を想定し、現状を分析する。また、阪急電鉄の利用者に有料座席への支払い意思額を尋ねるアンケート調査を実施する。その結果を用いて価格理論モデルを再設定し、ピーク時とオフピーク時それぞれの時間帯にて変動価格制の導入によって企業の利潤最大化となる料金を検討する。</p> <p><b>【期待される効果】</b></p> <p>今回の研究により有料指定席を利用する人たちの料金に対する意識の違いが明らかとなり、それによってどのような人がどの時間帯のどのくらいの金額であれば利用するのかが明確になる。そして、死荷重を減らすことができる適正価格の設定により、消費者と企業の需要と供給の最適化を図ることができる。</p> <p>また、乗客の満足度の向上、企業の新たな経営戦略の選択肢の増加など様々な効果につながると期待される。</p> <p><b>【参考文献】</b></p> <p>阪急電鉄 <a href="https://www.hankyu.co.jp/privace/index.html">https://www.hankyu.co.jp/privace/index.html</a></p> <p>松本涼佑 「交通学研究」(『普通列車のグリーン車需要の価格弾力性の推定 -Regression discontinuity designに基づいて』、第63号、2020年、71~78頁)</p>		